

あ　と　が　き

「地域経済研究センター」は、広島大学経済学部の附属研究機関として文部省令に基づき平成元年５月に設立されましたが、約10年間の活動を経て、平成11年４月に「地域経済システム研究センター」として改組転換され、新たにスタートされました。それから、はや３年を迎えようとしております。

新センターは、グローバル時代における地域経済の持続的発展策の総合研究をすることをその活動目的とし、「地方分権型社会における自立的経済システムの構築」と「地域間の連携・強力と環瀬戸内海経分化圏の形成」を新たな研究課題として、総合的な研究を行うため、活発な活動を展開しております。

地域経済研究推進協議会は、同センターの活動を支援して、地域経済に関する研究活動を推進し、地域の産官学の交流を図ることを目的に、同センターとの共催で上記の諸活動に精力的に取り組んでおります。これらの活動での示唆に富んだ数多くの報告と熱心な討論を報告書として記録にとどめることは、たいへん意義深いことであり、地域経済の発展に貢献することになると期待されます。

こうした観点から、このたび本協議会では、同センターの協力のもとに、第14回研究集会の報告書を刊行することにいたしました。本誌が中国・四国地域の活性化に貢献するだけでなく、同センターを中心とした経済研究機関の連携強化にも役立つことになれば幸いです。

大学と地域が一体となって当面する地域の諸問題に取り組み、さらに大きな成果をあげるために、私どもの活動に対する忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸甚です。

最後に、本誌の作成にあたりお世話になりました関係各位に深くお礼申し上げます。今後とも皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成14年 6 月

地域経済研究推進協議会会長

林　　憲　弘（中国経済連合会専務理事）